

事務連絡  
2019年5月14日

公益社団法人 全日本病院協会 御中

公益社団法人 日本医師会  
日本医師会総合政策研究機構

**社会人プログラミング教育研究実行委員会主催  
シンポジウム「今そこにあるサイバー危機」について**

拝啓 新緑の候 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて今般、日本医師会 ORCA 管理機構より、添付のとおりシンポジウム「今そこにあるサイバー危機」開催のご案内がありましたので、回付いたします。医療・介護分野において注目度の高いテーマであることから、広くご案内申し上げます次第です。

つきましては下記の通りご案内資料を同送いたしますので、貴会会員並びに関係各方面へのご周知を賜りますと幸甚です。よろしくお願い申し上げます。

敬 具

記

**【同送物】**

- 日本医師会 ORCA 管理機構からのご案内状（A4・1枚）
- シンポジウムのご案内（A4・2枚）
- 社会人プログラミング教育研究実行委員会（A4・2枚）

なお、本講座に関するお問合せは、添付ご案内状記載の日本医師会 ORCA 管理機構あてにお願い致します。

以 上

2019年5月10日

公益社団法人日本医師会 御中

日本医師会 ORCA 管理機構株式会社  
代表取締役社長 上野 智明



社会人プログラミング教育研究実行委員会主催  
シンポジウム「今そこにあるサイバー危機」について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より弊社活動に格別のご厚情を賜り有難く 深く御礼申し上げます。

さて、今般6月11日(火)に社会人プログラミング教育研究実行委員会(事務局:弊社。添付資料ご参照)が主催する掲題シンポジウムが開催されます(添付ご案内チラシご参照)。シンポジウムでは、貴会 石川常任理事に司会をお願いし、IoT時代におけるサイバーセキュリティ政策、医療現場のセキュリティなど様々な視点からのサイバー危機対策やプログラミング言語開発者から見た ICT リテラシーについて総務省を交え議論します。また講演者の一人に日本医師会総合政策研究機構 澤部長にご登壇いただきます。

現在、社会人プログラミング教育研究実行委員会のホームページにシンポジウムの案内を掲載しメールにて、参加申込みを常時受付中です。

参加申込アドレス: [programming@pm.orcamo.co.jp](mailto:programming@pm.orcamo.co.jp)

なお、シンポジウムは当日および後日に Youtube での動画配信を予定しています。動画配信の案内については、追って社会人プログラミン教育研究実行委員会のホームページにて行います。

つきましては、貴会から別記の医療・介護関連団体に、会員の方々および関係各方面へのご周知を賜りますようお願いいたしますと幸甚です。何卒宜しくお願い申し上げます。

【開催要領】

1. 開催日時: 6月11日(火) 18時開演(17:30開場) ~19:30終了
2. 開催場所: 日本医師会館 大講堂
3. 定員 : 300名(予定)
4. 参加費 : 無料
5. 後援 : 日本医師会、総務省・情報通信月間推進協議会

敬具

【シンポジウムに関するお問い合わせ先】

日本医師会 ORCA 管理機構 [programming@pm.orcamo.co.jp](mailto:programming@pm.orcamo.co.jp) (担当: 鈴木)

今そこにある

# サイバー危機

参加費無料

- 日時 2019年6月11日(火) 18:00~19:30  
(開場 17:30)
- 会場 日本医師会館 大講堂 (東京都文京区本駒込2-28-16)
- 定員 先着300名様

生活を便利にし、仕事の効率も格段に向上させたインターネットは、他方で端末へのウィルス感染や不正侵入など、サイバーセキュリティに対する脅威ももたらしています。

こうしたサイバー危機に対処すべく我が国では、「サイバーセキュリティ基本法」の制定をはじめ、様々な対策を進めていますが、現場で実際に危機に遭遇し対処しなければならないのは、インターネットに接続している私たちです。インターネットやコンピュータ、プログラミングの基礎知識を身につけ、情報セキュリティについて適切な対策を取得すること、すなわち「ICTリテラシーを身につけること」が、今なにより私たちには求められています。とりわけ情報の機微性・秘匿性や、医療行為への被害の深刻さに鑑みれば、医療機関にはより切実な課題です。

本シンポジウムでは、IoT時代におけるサイバーセキュリティ政策、医療現場のセキュリティなど、様々な視点からのサイバー危機対策やプログラミング言語開発者から見たICTリテラシーについて議論します。



ICTリテラシー向上で  
サイバー危機への  
適切な対処を！

## 開演挨拶

石川 広己

日本医師会ORCA管理機構株式会社 代表取締役会長、日本医師会 常任理事

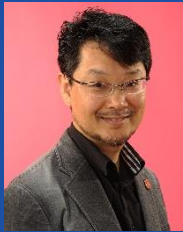
## 講演



講師：木村 公彦（きむら・きみひこ）

総務省サイバーセキュリティ統括官付参事官

92年、郵政省（現総務省）入省。総務副大臣秘書官、郵政企画管理局保険企画課課長補佐、総合通信基盤局料金サービス課課長補佐、同事業政策課統括補佐、情報通信研究機構ワシントン事務所長、総務省総合通信基盤局事業政策課調査官、警察庁長官官房国際課国際協力室長、総務省情報通信国際戦略局国際協力課長などを経て、18年7月より現職。



講師：まつもと ゆきひろ

プログラミング言語Rubyの生みの親。

株式会社ネットワーク応用通信研究所フェロー、一般財団法人Rubyアソシエーション理事長。内閣官房 IT総合戦略本部本部員。鳥取県米子市生まれ。英語圏ではMatzの愛称で呼ばれている。自他共に認めるプログラミング言語おたくとしても知られている。



講師：澤 倫太郎（さわ・りんたろう）

日本医師会総合政策研究機構研究部長/会長特別補佐。

日本医科大学大学院生殖発達病態学講師。慶應義塾大学産婦人科学教室客員准教授。

日本産科婦人科学会前幹事長。日本医師会元常任理事。

文科省「生命倫理安全部会」委員、

内閣府「医療関連行為の特許保護の在り方に関する専門調査会」委員、

厚労省「生殖医療部会」、「臓器移植専門委員会」委員などを経て現職。

## パネルセッション

### 今そこにあるサイバー危機

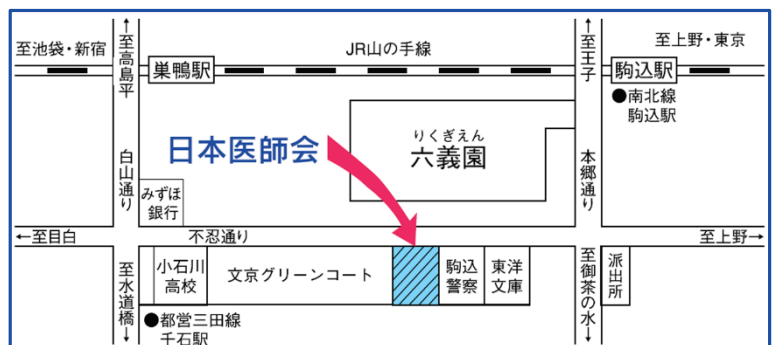
我が国のサイバーセキュリティ政策の内容、実際にあった過去事例や、イスラエルなどの国際的な取り組みについて、政府・開発者・医療現場それぞれの視点からサイバー危機への対策方法を議論するパネルセッションです。

## 会場のご案内

日本医師会館 大講堂

東京都文京区本駒込2-28-16

JR山手線 「駒込駅」南口より徒歩約10分  
東京メトロ南北線 「駒込駅」より徒歩約10分  
都営地下鉄三田線 「千石駅」A3出口より徒歩約8分



## 参加お申込み方法

お申し込みをご希望される方は、参加希望者ご氏名（複数名参加の場合は代表者1名）、所属先、参加希望人数をご明記の上、下記メールアドレスまでご連絡ください。

✉ [programming@pm.orcamo.co.jp](mailto:programming@pm.orcamo.co.jp)



社会人プログラミング教育研究実行委員会

<https://pear.orcamo.co.jp/>

【事務局】

日本医師会ORCA管理機構

☎ 03-5981-9681

## 社会人プログラミング教育研究実行委員会

### ご挨拶 ～社会人プログラミング教育推進運動協賛のお願い～

委員長 横倉 義武（日本医師会会長）

現代の高度情報化社会は、インターネットの登場に端を発し、世界の歴史の中でも特筆される程短期間に、大きな変革を遂げようとしています。情報の高度化・多様化の流れは止めようもなく、社会的にも経済的にも政治的にもますます強化され、浸透していくものと思われれます。

このような環境の変化に対応するには、広く国民が ICT リテラシーを身に付けることが必須と考えられます。その認識から政府では 2020 年から小学校でのプログラミング教育の義務化を決定し、既に手引書も公表されました。

一方、社会人の方を見ますと、時代が急速に進んだばかりに教育が追いつかず、基本的な ICT リテラシーに不足した状況があるのではないかと心配しております。このままでは、環境の変化に適応できず、取り残されてしまうことも危惧されます。各業界の方々とお話しても、組織の大小を問わず、同じような悩みをもっておられるようです。

医療界も例外ではなく、診断技術の AI 化や医療機器・業務処理機器の ICT 化が進んでおりますが、人的面でのスキルが追いついておらず、脆弱性への備えも十分ではないようです。そこで、ICT リテラシーの根幹をなす論理的思考力や問題解決能力の実際的な養成策として、「日本医師会 ORCA 管理機構」において、e-ラーニングを活用した別紙内容でのプログラミング講座が開設されました。これを医療界以外の方々にも開放し、社会全体で ICT リテラシーを高めていくことができれば、持続可能な社会構築の一助となる、と確信しております。

この、社会人を対象としたプログラミング教育推進運動の母体として、この度、「社会人プログラミング教育研究実行委員会」を設置いたしました。趣旨にご共感いただける企業・団体のご協賛を願えれば幸甚です。

以上、御検討の程、宜しくお願い申し上げます。

### 目的

日本医師会 ORCA 管理機構が提供する社会人のプログラミング教育講座を、企業や職種の壁を越えて協同して推進することを目的とした組織です。

講座は、プログラミングを基礎からしっかりと学習し、初歩的な Web アプリケーションの開発ができるようになることを目標としています。

## 組織

| 役職   | 氏名    | 所属・職名                   |
|------|-------|-------------------------|
| 委員長  | 横倉義武  | 日本医師会 会長                |
| 副委員長 | 川島祐治  | (株)NTT データ経営研究所 代表取締役社長 |
| 副委員長 | 羽鳥裕   | 日本医師会 常任理事              |
| 幹事   | 自見はなこ | 参議院議員                   |
| 幹事   | 石田昌宏  | 参議院議員                   |
| 幹事   | 長島公之  | 日本医師会 常任理事              |
| 顧問   | 松本行弘  | (株)ネットワーク応用通信研究所 フェロー   |

事務局：日本医師会 ORCA 管理機構株式会社

(住所) 〒113-0021 東京都文京区本駒込六丁目1番21号 コロナ社第3ビル6階